

キマエコノハ *Eumaenas salamina* Cramer(ヤガ科)

開張130mm内外。美しいヤガ科の一種。暖地性で台湾、中国南部、南太平洋諸島に分布する。九州・本州では偶産蛾で風などによって運ばれたものがたまたま採集されたのだろう。採集例：沖縄、九州では福岡県北九州市奥畑、長崎県福江市、対馬豆酸、大分県別府市、宮崎県。四国(徳島県)。本州では山口県阿武郡阿東町、鳥根県、広島市黄金山。和歌山県田辺市、三重県御在所岳。兵庫県ハチ高原大久保で燈火に飛来したのを1975年8月4日水島正司採集。幼虫の食草は暖地ではツツラフジ科のものであるが日本では不明である。

シロモンフサモクメ *Eutelia sinuosa* Moore(ヤガ科)

開張38mm内外。暖地性。6～7月、9～10月に出現する。分布は本州(岐阜、吉野、大峯山、比叡山、箕面山、兵庫県柏原町)、四国、九州(屋久島)、ボルネオ、印度と広いが局限的でごく稀で絶産となるだろう。

ヒメシロモンドクガ *Orgyia thyellina* Buler(ドクガ科)

開張♂は21～29mm。♀は30～42mm。出現は6～8月、10～11月。秋に羽化する♀は翅が退化して著しく短い(宝塚市宝梅1丁目で1975年10月25日採集)。又自宅でナガバユキノシタの葉を食っていた幼虫を飼育して1976年6月18日♀の成化を観察した。食草はリンゴ、ナシその他の植物。分布は北海道、本州、四国、九州、韓国、東シベリア、台湾と広域であるが個体数は著しく少ない。

宝塚大橋の照明燈で採集した蛾(続報その7)

新家 勝

I. はじめに

今回は1986年中の採取品について報告させていただく。今回もまた、採集場所は「宝塚市」を省略

して記載する。

II. 採集結果

1. Noctuidae ヤガ科

- (1) *Xanthodes transversa* Guenée フタトガリコヤガ
1986.9.5 武庫川町
- (2) *Rivula biatomea* Moore タケアッパ
1986.7.24 南口2丁目

2. Geometridae シャクガ科

- (1) *Scopula ignobilis* Warren ウスキクロテンヒメジャク
1986.9.20 南口2丁目
- (2) *Parabapta clarissa* Butler ウスアオエダジャク
1986.6.19 南口2丁目
- (3) *Paradarisa comparataria kurosawai* Inoue ヒロバウスアオエダジャク
1986.10.9 南口2丁目
- (4) *Ourapterix obtusicauda* Warren コガタツバメエダジャク
1986.6.19 南口2丁目

3. Pyralididae メイガ科

- (1) *Aglossa dimidiata* Haworth コメノシマメイガ
1986.6.18 南口2丁目
- (2) *Bradina geminalis* Gradja モンウスグロノメイガ
1986.6.13 南口2丁目
- (3) *Micractis nubilaris* Hubner アワノメイガ
1986.5.31 南口2丁目

III. まとめ

1986年中の新たな採集品は、ヤガ科2種、ジャクガ科4種、メイガ科3種の計9種であり、ここで蛾の採集を始めて以来の最少であった。9年間も同じ場所で採集しているので、新たな種が余り採れなくなるのは当然としても、既採集の種でみられなくなったものも多くあり、全般的に個体数が著しく減って来た。しかし、1985年にはほとんどみられなくなったキアシドクガに復活の徴があり、群飛とは言えないまでも、かなりの個体がみられた。また、余談ではあるが第14巻第1号で報告したオオホシカメムシは10月前半に非常に多く、1986.10.6に96頭、10.9に20頭、10.15に128頭を捕獲した。昆虫類が減少する中で、増加しているのは蜘蛛類であり、橋の欄干は

オニグモの仲間と思われるクモの巣でいっぱいである。このような状態の元で年間に新たに採集ができる蛾は数種程度になるものと予想されるが、今後とも採集を続け、毎年、報告するのが困難であれば、何年分かを纏めて報告するつもりである。

IV. 参考文献

- 講談社 日本蛾類大図鑑
北隆館 原色昆虫大図鑑 I
保育社 原色日本蛾類図鑑上、下

神戸市北区山田町(鈴蘭台周辺)の蛾

松本 健嗣

1. キスジウスキヨトウ *Archanara sparganii* ESPER

1 ♀ 14-VII -1973 北区甲栄台

以前(1979)地元自然保護団体の報告書にガマヨトウとして記したがこれは本種の誤りであった。低層湿地の蛾と云はれ山間盆地鈴蘭台らしい種だと思う。

2. マイコトラガ *Maikona jezoensis* MATSUMURA

1 ♂ 29-IV -1986 北区山田町藍那

稀れな種でこれ迄に知られた産地は北海道から福井県迄の日本海側と中部山地、及び伊豆半島から屋久島に至る太平洋側であり、兵庫県では洲本市で採集されている(1972登日)。上記藍那での記録は近畿中軸、山陽地方では最初ではないだろうか。

以下3種のシャクガ科は余り多くないものとされている。

3. コトビスズエダシャク *Petelia rivulos* BUTLER

1 ♂ 28-VI -1986 1 ♀ 20-VI -1984 山田町藍那

食草はクロウメモドキ科ケンボナシとされており、藍那附近には喬木が多く見られる。

4. ソトシロモンエダシャク *Cleora venustaria* LEECH